



志津南

8月号

news

志津南ホームページ

<http://shizu373.net>

志津南学区の人口 (6/30 現在)
世帯数 2,485 総人口 6,623 人

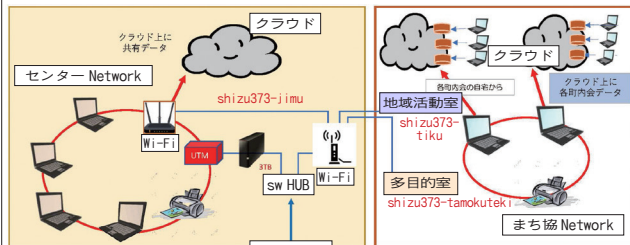
発行

志津南学区まちづくり協議会

Tel(fax) 077-563-6206

E-mail shizuminamimachi@gmail.com

志津南学区まちづくり協議会デジタル化構想



センターに協議会ネットワーク構築

8月ふれあいまつりアンケート実施

志津南まちづくり協議会(高田憲一会長)は7月3日、第3回理事会を開催、令和3年度一般会計予算を一部変更のうえ確定しました。

令和2年度の一般会計、特別会計を含むまちづくり協議会全体の最終決算が確定、消費税や法人税など全て納付を終えました。特別会計の余剰金を一般会計に振り替え、令和3年度の一般会計予算となります。

志津南二ニュース212号に掲載した一般会計予算が一部変更になっています。

で、再度掲載します。表

の協議会独自のネットワークが繋がりました。これにより、コロナ禍で脚光を浴びたりモート会議に対応したり、一部のパソコン精通者だけのものだったデジタル化資料の利用が簡単になったり、災害時の緊急連絡網の役割を担わせることなどが見込まれます。

令和3年度一般会計予算 (単位=円)

収入の部	
項目	予算額
前年度繰越金	13,386,483
会費	1,994,800
草津市交付金等	6,142,000
防犯自治会支援金	25,000
ごみ袋販売手数料	40,000
自治会活動保険	260,000
印刷製本費	25,000
雑収入	300
前年度特別会計余剰金	1,551,415
合計	23,424,998
支出の部	
事務費	2,946,000
事業費	4,150,200
防犯カメラ設置費	350,000
自治会活動保険	260,000
小計	7,706,200
予備費	15,718,798
合計	23,424,998

今後更に、英知を結集して、将来を見据えたシステムの土台作りを図ります。

ふれあい推進委員会(川手麻子委員長)からは、「ふれあいまつり」の今後の在り方を提言するにあたり、全住民対象のアンケート調査を実施することが報告されました。8月中旬頃に配布、回収されますのでご協力をお願いします。

新しい会議のあり方を模索して

教え合う委員たちと会議画面



方からデジタル機器なんてよくわからないという年配の方まで12人。まずは、携帯電話をま

ちづくりセンターのWiFiに接続をしました。「そんなことしたことがない」という声もあ

る中、やり方を知っている人が苦手としている

人へアドバイスをすること

で無事全員が接続することができました。その後、オンラインで多人数ビデオ会議ができるアプリ「ZOOM」をダウンロードし、全員でオンライン会議ができる環境が無事に整いました。

実際にやってみると、不安点も見つかりました。一

草津市のコロナワクチン接種対象者が65歳未満の方にも広げられました。が、自粛はこれからは必要です。

向日町(京都府)長寿会・塩崎光義さんが同会員に配布された資料を、ご本人の承諾を得て要約掲載します。

◇

ワクチンの発症予防効果

①1回接種12日目以降52%、2回接種7日目以降95%の発症予防効果があります。

②同じ接種回数でも発症する人と、しない人がいます。元来免疫力が弱っている高齢者はワクチンが万能でないことを自覚しましょう。

③ワクチン接種者では重症者が大幅に減っています。感染予防効果はない接種後も、コロナに感染し、無症状・軽症のまま第三者に感染させるリスクがあります。従来の武漢株に比ベインド型変異株は2倍、英国型変異株は1.3倍感染力があります。他人に感染

させないため、マスク・消毒・手洗い・うがい・検温・3密回避などを今まで通り心がけましょう。

集団免疫に期待

①ワクチン接種が人口の70%、90%へ進むと、集団免疫ができて終息に向かいます。

②1回以上接種した人は7月20日現在、英国(68%)、米国(56%)、日本(34%)、インド(23%)などです。

70%まで後5ヶ月はかかります。元の生活に戻る日までお互いに感染防止に努めましょう。

青少年育成委員会(月宮功委員長)は7月10日、月例の通常の会議後、オンラインでの会議の可能性を探りました。

コロナウイルスは依然として猛威を振るっており、多人数が顔を合わせる会議に抵抗を持つ人も多くいます。青少年育成委員は若い

つ目は、多人数での会議で発言や会話がうまくいくのかという不安。同時に多くの人が発言するとごちゃごちゃしてしまいそうでした。二つ目は、そもそも家で一人でアプリを起動して会議に参加することが難しいのでは、という不安。「家で一人だと、どうやらいいかわからない」という声も多々聞かれました。

以上のことから、青少年育成委員会では、オンライン会議の可能性を探りながらも、しばらくは通常通りの対面の会議を続けていくという結論に至りました。しかし、これからの会議の可能性を探るという意味では、とても有意義な時間であったと思います。

草津市長 調整池清掃を視察

志津南環境ボランティアの会(舟木要一代表)は定例活動日の7月6日、伯母川「調整池」の草刈り作業を実施し、日頃の同会の活動に感心を持たれた橋川草津市長の視察訪問を受けました。

調整池の草刈り作業視察に訪れた橋川市長



早朝8時から市より当会が取り組むパブリックスペース(地域内の公園・緑道・通学路・調整池など)整備、空き家対策や小学校の自然学習支援等々の活動に対し謝辞をいただき、草津市として何か支援を考えたいと言



機器の説明を受ける市長

本年度の活動テーマとして「環境」「高齢化」の問題解決に向け「市民力」を生かした「まちづくり」活動の実現を目指しています。議会で山元議員は、市長が良く言われる市民力を使ってのまちづくりを実践している町があると「志津南環境美化ボランティアの会(52人)」の活動を紹介し、こう

といった活動にこそ市として支援するべきではないか、市長も是非視察されてはどうかと呼びかけました。地域外からの評価に会員の士気も高まり、今後も個々の生きがいや健康増進にも繋がるような有意義な活動にしたいと思います。住民の皆さんの一層のご理解ご支援をお願いします。

志南小ふれあい農園除草作業

志津南小学校(山田容子校長)2年生児童が7月13日、自然学習の授業で、志津南小地域ふれあい農園の雑草を抜きました。

今春、志津南環境美化ボランティアの会と植えたサツマイモの苗を覆うように雑草が生え、大きく伸び、苗の生育が妨げられる状態になっていました。ボランティアより、雑草に栄養分を横取りされると、サツマ



草むしりに取り組む2年生児童

イモが大きく育たなくなるといった説明を受けた児童たちは、苗に注意をしながら草抜きを開始。雑草を根っこより取り除いて、苗がはつきりと見えるようになりました。

生徒の皆は、これで秋の収穫が楽しみなになると、教室での授業に戻りました。最後にボランティアで、苗の根元に土をかけ、水まきをして除草の作業を終了しました。

熱心に歯の健康について学ぶ学級生



オーラルフレイル予防学ぶ

オーラルフレイルとは、加齢による衰えのひとつで、食物を噛んだり飲み込んだりする機能が低下したり、滑舌が悪くなったりするなど「口」に関連する機能が低下しつつある状態のことを指します。

やすらぎ学級第2回講座が6月23日、志津南まちづくりセンターで開催され、学級生18人が参加しました。「歯の健康について」と題し、草津東守山野洲歯科医師会の歯科衛生士の大谷直子さん他2人の講師を招き、「オーラルフレイル」について、分かりやすく丁寧に説明していただきました。

虫歯や歯周病にならないために、オーラルフレイルを予防し、些細な衰えから筋肉が弱くなり口が閉じず、栄養が摂れないなどの悪循環にならないために、日々のケアが必要です。甘いものはお菓子だけではなく、飲み物にも含まれており、冷たい飲み物ほど、

志津南文庫



もちろんこれ以外にもありますよ。是非、センターサロンにお立ち寄りください。



砂糖の量が多いとのこと。歯の健康に気を付けて生活したい」との声を聞くことができました。最後には積極的な質問もありました。また、口腔ケアに必要なグッズをお土産にいただき、とても有意義な時間となりました。

交流が深まる行事に



追分南町内会「子育てサロン」(高岡野州子代表)は7月7日、年間行事予定を決める会議を開催し、メンバー3人で話し合いました。コロナ禍で実施する行事は、親子で楽しい時間を過ごせると共に、母親同士の交流が深められる行事をと、皆で意見交換をしました。

みなみつ子 地域との絆

学区内の様々な団体が、志津南小学校（山田容子校長）の児童たちの活動を支援しようと協力、学校と地域との間に小さな絆がいくつも生まれています。

SOSプロジェクト 今年もスタート

「志津南おかしなストーリー SOSプロジェクト」が、二年目のスタートを切りました。

これは、夏季の下校時の子どもたちの健康と安全を守るため、まちづくり協議会・PTAと協働して昨年立ち上げたものです。



早速プロジェクトのぼりを建てる協賛店

炎天下での下校中体調不良の子どもが、通学路沿いの協賛店舗や



ゲームという近では様々なボードゲームが本屋さんや電気屋さんなどに陳列されています。ボードゲームという大きなものを想像してしまうかも知れませんが、トランプく

ボードゲーム

「まいたゲームばかりして」という声がいろんなところで聞こえてきそうです。

でも、テレビゲームではないゲームがじわじわとブームになっています。昔から人生ゲームやウノなどい



です。単純ながら、笑いの

ボードゲーム、おすすめ

（なっちゃん）

点字の読み方を学ぶ4年生



点字初体験

楽しく学ぶ

施設を訪ねれば、学校に緊急連絡が入り、教職員が現場に急行、保護者と連携して帰宅できるようにします。

今年度は、昨年度より三つ多い17の店舗・施設に賛同いただき、学区全体に取り組みが広がりました。九

習を行いました。

「天津点訳グループ」から講師3人を招き、点字の読み方や打ち方を丁寧に指導いただきました。点字を打つ「点字盤」を一人一台貸してい

ただきでしたが、機械を初めて見る児童が大半で、不思議そうな面持ちでした。

4年生児童が6月23日「福祉学習」で、点字体験学

ったりもするそうです。小学生に人気なのが「ナンジャモンジャ」。カードに書かれた謎生物に名前をつけていき、前と同じカードが出

た時に早く名前を叫んだ人が勝ちという簡単なゲーム

打ち終わった用紙を裏向けて指先で触れると、突起の並んだ点字が左側から並ぶようにでき上がっており、児童達は驚きと喜びを感じたようでした。

月末まで実施する予定です。地域全体で応援していただいていることに心より感謝しています。

当日、講師として来ていただいた方はもちろん、点字盤をお貸しいただいた草

津市社会福祉協議会、点字を指導いただける方にお声かけいただいた地域コーデイネーターさん等、地域のみなさんの協力があったからこそ体験活動となりました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

こんなに生き物いるんだね



の先生方に種類ごとに分けていただき、カワムツやドソコ、ヌマエビやアメリカザリガニ等、たくさんの種類の生き物が生息していることが分かりました。

身近な川にこんなにたくさんの生き物が暮らしていることに驚き、自然の豊かさを大切にしたいと実感できた貴重な体験となりました。

自分で作れたよシトラスリボン



人権について活動しているハート委員会が7月5日、地域で活動する「志津南アンサンブルパワー」に依頼し、「シトラスリボン」について学ぶ機会を設け、リボン制作をしました。写真。

シトラスリボンとは、コロナ感染症患者やその家族、医療従事者などへの差別や偏見の防止を目的とするプロジェクトのシンボルで、

1本50cmの紐を使って3つの輪を作り、その輪の中心を固定してシトラスリボンを完成させていきます。最初は難しそうにしていた児童も、丁寧に教えていただき、最後には自分の力で完成させていました。



今後委員会の児童たちは、この活動を全校に広めようと考えています。

みんなの願いが
かないますように
年に一度の七夕。



雨に降られて、織姫と彦星は逢えなくても、みんなの願いはきっとかなうと思います。

本物の笹で七夕を

追分南町内会（高田篤司会長）は7月7日、町内の

幼児・児童向けに七夕の笹を用意しました。

最近、開発が進んで竹藪も無くなり笹が手に入り難くなっています。子ども達に本物の笹で七夕飾りを作らせてあげたいと、町内会長が笹と折り紙を用意してくれました。

配られた笹を手にする子ども



コロナ禍で暗い世相です。早く普段の生活を取り戻せるように願いを叶えて欲しいです。

短冊に願い込めて

若草文庫は7月7日、若草第三集会所で幼児や小学生が願いを込めた短冊を飾りました。写真。

スタッフが用意した青々とした笹竹に、願いを書いた短冊や吹き流し、なす、赤い折り紙に種をいっぱい描いたスイカ、網飾り



の公園へと飛び出し、静まり返った部屋の窓辺の笹飾りを見ています。笑顔が溢れますように



子育てサークル若草おやこっくクラブ（山出聡子代表）では、7月1日、親子7組が参加して、七夕会を開きました。写真。

大きな折り紙の天の川に、

プログラミング講座

志津南まちづくりセンターは講師に立命館学生団体 Ritech の守屋亮太さんを招き、次の要領で「プログラミング講座」を開催します。

▽日時

8月11日（水）10時～11時

30分 小3以下対象

8月12日（木）10時～11時

30分 小4～6対象

8月13日（金）10時～12時
中学生対象

自分たちで作った笹飾りをつけ、それぞれの七夕飾りを作りました。お友達の手形や足形をを体にしたおり姫とひこ星、輪つなぎ、三角つなぎ、スイカなど、たくさんできました。枝切りばさみのようにハサミを使う子に大人がドキドキしたり、紙がビリビリになったりと子どもたちならではの一幕もたくさんありましたが、楽しむ子どもたちを微笑ましく見守る姿が随所に見られました。みんなの願い事が叶って、もっと笑顔が溢れますように。

▽場所 志津南まちづくりセンター
▽定員 各5人（先着順）
▽受講料 500円
▽申込 志津南まちづくりセンター
電話（563）6206

小学生は Scratch を使ってゲームを作ります。中学生は HTML、CSS を用いてサイトを作成します。楽しみながら、これからの時代に必須の論理的思考を身につけることを目指しています。

パソコンの駅

▽パソコンについての相談

▽8月24日（火）

9月25日（土）

13時～16時

▽志津南まちづくりセンターサロン



滋賀県の初夏を彩る麦秋の候、ビールの美味しい季節を迎えました。

さて、滋賀県が小麦の作付け面積では全国第5位、本州では第2位、近畿地方では断トツなのは意外かもしれませんが、麦の収穫に合わせ、毎年神様に麦で作った麦酒を奉納し、祝う祭礼が滋賀県甲賀市にあるのをご存じでしょうか？

毎年7月18日、甲賀市水口町牛飼の總社神社で「麦酒祭（むぎざけまつり）」が行われます。このお祭りは新麦を使って麦酒を醸造し、神前に供えて、豊作と夏負け予防の祈願を行うというもの。起源は1441年（嘉吉元年）の社殿再建の祝賀にまで遡るといい、麦酒（むぎざけ）として、

資源回収

□毎月第1・3日曜日

★若草1～5丁目町内会

□毎月第2・4日曜日

★若草6～8丁目町内会

岡本町西町内会

□毎月第2・4土曜日

★かがやきの丘町内会

□毎月第1・3土曜日

★フォレストローズ子供会

□毎月第2日曜日

★向山子供会

※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス

近江の麦酒



醸造された麦酒の奉納

ビールは元祖としても有名な、遠隔地からも参拝者が訪れます。

7月17日の早朝、近くの飯道山で清水を汲むことから始まります。蒸した麦に麹を混ぜ、煮沸した清水を加えて発酵させる。温度に

気がつけながら一晩中、交代で混ぜ続け、時間差で3つの桶で仕上げていきます。翌日は宮司が3つの桶の麦酒を試飲して、どれを奉納するか決めます。

奉納には地域代表者として市長をはじめ、地元の氏子さんが参列し、滞りなく執り行われます。

この後、参拝者らには奉納された麦酒が早速、振る舞われます。麦酒は見た目は甘酒のようですが、少し酸味があり、ヨーグルトのよう（ノンアルコール）。新麦で作った貴重な神饌としてありがたく頂きましょう。

総社神社はビール愛好家からは日本のビールの元祖を祀る地として一度は訪れたい場所でもあるようです。

神社の起源は創建が1100年（康和2年）の造営で、祭神は大己貴命。総社大明神と称し、牛飼村12戸の祖先を祀ったのが始まりとされています。古代は牛を飼っていた地だったようです。

コロナ感染対策のため、昨年は中止。今年は神事のみが執り行われます。

甲賀市では本物の地ビールも生産されていますので、機会があれば、ぜひ一度訪れてみたいものです。

（野津 隆）